

## 防災行政について

**問** 防災無線線整備は21年3月で完成するが、難聴地域、高齢者家庭、一人暮らし、足に障がいのある人たちの対応についてはどうようにするのか。

**総務部長** 難聴地域は、屋外拡声子局等の追加整備事業を行っている。高齢者家庭等については、災害時要支援者避難支援計画を策定するとともに、自主防災組織の結成など、弱者支援体制強化に結びつく推進活動を積極的に行って参りたい。

## 尾崎 治彦 議員

### 通学合宿について

**問** 非常に良い経験になってきている。今後の取組はどうか。

**教育部長** 本年度、市内13小学校のうち、10校で実施している。普段何気

なく過ぎていく毎日の生活が、どれだけ多くの作業と家族の支えのもとで成り立っているかを、子どもたちに実感させることができ、今後市内すべての小学校まで拡大し、実施していきたい。

## 戸馳小学校跡地の利用について

**問** 戸馳小学校跡地の宇城市生涯学習センターは、現在どのような状況にあるのか。

**教育部長** 昨年6月から戸馳学習センターの機能を不知火庁舎内の生涯学習プラザに移管した。合宿など短期宿泊型機能を併せ持った施設として整備し、地域の実情に合った施設の活用を図りたい。

## 乗合タクシーについて

**問** 次期、試験運行が予定されている三角戸馳間

の路線については、交通弱者対策として、バス路線に頼っている人たちのことを最優先に考えるべきだが、今後どのように考えているのか。

**企画部長** 戸馳地区に、導入の検討を始めている。地域の人々にとって利用しやすく、特に交通弱者である高齢者の通院や買い物への利便性にも配慮しながら、市の財政負担も軽減できるよう、新たな交通体系も含めて検討している。

## 行政区再編について

**問** これからの取組として、再編後の問題点についても考えながら進めていくべきである。各行政区からの事業要望に対して、統合行政区を優先して予算配分が行われるということであったが、どうか。

**総務部長** 市の行財政改革の中で、行政区の組織

を適正な規模に再編することは大きな課題である。現在は181行政区、38%の進捗率であり、さらに、今年度末2行政区が削減される見込みである。行政区再編等助成金は、継続する考えであり、統合行政区からの要望事項については、関係部署と連携を図り、優先して積極的に支援していきたい。

## 戸馳大橋について

**問** 国交省の延命化の方策も理解できるが、本橋は、補修・補強だけでは済まされない。将来を見据え、30億円かかっても新しく橋を架け替えるべきと思うが、どうか。

**土木部長** 架替え案、補修・補強にプラスした自転車・歩行者道設置案、補修補強案の三案を検討している。戸馳大橋は、戸馳地区にとって命の橋であり、生命・財産・生



戸馳大橋架橋（昭和48年当時）

活を守る唯一の橋梁である。多額の建設費を要するので、今後財政局との協議、検証を重ね対策を講じて参りたい。

## 中山 弘幸 議員

### 宇城市の財政の現状について

**問** 宇城市の財政状態については説明を受けており、全ての項目で健全であることは理解している。今市民の一部が、宇城市は箱物をつくり過ぎて、財政危機状態で2、3年後には夕張市のような

ると、全く事実と異なったことを吹聴し、市民を混乱させている。宇城市を愛するものの一人として、許しがたい。

改めて、宇城市と夕張市の違いをわかりやすく説明していただきたい。

**市長** 夕張市は、国内有数の石炭の産地として栄え、昭和35年には炭鉱会社を中心に関連産業も発達し、人口12万人であった。しかし、昭和30年代以降のエネルギー革命により、次々に炭鉱会社が撤退し、平成2年にはすべての炭鉱が閉山。もともと炭鉱の町であり、石炭産業以外の会社が皆無同然だったため雇用の受け皿がなく、若者が都市へ次々と流出し、人口は最盛期の10分の1の1万2千人まで激減。そのような中、夕張市は平成8年までに炭鉱閉山の処理対策に583億円の投資を行い、また、観光関連施設に、市の持ち出し分が約100億円となる投



## 高田 幸夫 議員

### 豊野における幼・小・中一貫教育（学校建設）について

**問** 箱物が先にあり（平成22年度工事）、決定までの過程で小中学校のPTAや先生達、保育所の保護者や関係者、教育委員会、議会、地域でほとんど議論がされていない中で行われることは問題である。「国家100年の計は教育にあり」と思うが如何か。

**教育長** 議論不足は認める。今後行う。異年齢が共に遊ぶ環境や、進学した時の子どもの負担を軽減するためにも必要。

## 雇用問題について

**問** 現在の社会不安、若い人を中心としたワーキングプアや非正規労働者（全国1770万人、県内23万人）が増大しているが、このことをどう思うのか。また自治体では何か対応できるのか。

**企画部長** ハローワークと連携を強める。

**総務部長** 宇城市には非正規職員が425人いる。予算の面から正規には出れない。今後益々民営化を進めることと、早期退職を求めて人件費の抑制に努める。

## 市の財政について

**問** 合併後、財政は悪化してきているのは事実。その間の合併特例債の使い道として、他の市と違い、行政関係とスポーツ施設が多いことが特徴。今後の事業計画を見ると、

巨額な費用（200億円超）となる。10年間の財政見通しは大丈夫と言明されているが、その金額の中に、この大不況による税の大幅減収と、大型事業費などが入っていない。これでは見方を誤るのではないか。

**市長** 現在の悪化は過去の政策によるもの。特例債は有効に活用している。将来の見通しは不明。よって3年間のローリングによる実施計画で事を行っている。

